

港で栄えた商家町

重要伝統的建造物群保存地区

萩・浜崎

萩城下の港町として栄えてきた、浜崎。日本海に面することから、物資の流通や販売、水産業などに携わる人々にぎわい、古くから萩の経済を支えてきました。現在もその町並みは健在で、平成十三年十一月には、全国で六十番目の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



古い建物がいっぱいの浜崎

浜崎には他にもたくさん伝統的な町家が残っています。浜崎伝建地区内には、伝統的建造物として指定された建築物が135棟あり、そのうち、江戸の建物が約45棟、明治の建物が約40棟、大正の建物が約25棟もあるのです。

港の商家町おすすめコース

徒歩：約30分
ガイド付：約1時間半

- ① 旧萩藩御船倉
- ② 小池家土蔵
- ③ 船宿
- ④ 柏村家
- ⑤ 広家
- ⑥ 藤井家
- ⑦ 斉藤家
- ⑧ 池部家
- ⑨ 中村船具店
- ⑩ 旧山村船具店
- ⑪ 旧山中家住宅
- ⑫ 須子家
- ⑬ 住吉神社
- ⑭ 中嶋治平旧宅地
- ⑮ 田中家
- ⑯ 梅屋七兵衛旧宅
- ⑰ 林家
- ⑱ 大嶋家
- ⑲ 泉福寺
- ⑳ 藤山家
- ㉑ 吹上通り
- ㉒ 旧萩藩御船倉

幕末の科学者

お土産品で有名な「萩ガラス」そして、食べるとビックリ!? 幕末パンをつくったという科学者「中嶋治平」の旧宅地です。萩でのコレラ流行を防ぎ、製鉄場の建設にかかりました。また、船や機関車も建造しました。萩城内で初めて、蒸気機関車の模型を運転したのは彼なのです!!

浜の香り

路地の奥へ行くと…クンクン。浜の香りがする! 町並みを一歩裏手に入ると、地場産業である海産物の加工場があって、いりこ、ちりめんじゃこが干してあり、浜の香りが漂います。

あの山は…もしかして?

住吉神社の横から菊ヶ浜を見て下さい!! ポコッと山が見えませんか? そうです! 萩城跡のある指月山が見えるのです。

8000発の花火大会

浜崎の夏の風物詩。8000発の花火大会。毎年8月1日に盛大に行われます。ここは花火が一番よく見えるビュー・ポイントなんです!

離島航路

この先→日本海には7つの島があります。浜崎とこれら7島は江戸時代、御船倉に代官所を置く浜崎宰判の支配下にありました。萩商港からは、3つの島に定期船が出ています。

- ◎大島航路→30分
- ◎見島航路→70分
- ◎相島航路→50分

つながってるの?

平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が繋がっているの!? 数えてみよう!! 綺麗に揃った底が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。

つながってるの?

平入の古い町家が連続して残っていて、いくつ家が繋がっているの!? 数えてみよう!! 綺麗に揃った底が見られるよ。江戸から明治にかけて、魚問屋と廻船問屋を営んでいました。

- トイ
- バス停
- トイレ
- 郵便局
- 銀行
- 海産物屋
- 菓子屋
- 食事処
- 蒲鉾屋
- 醤油屋
- 味噌屋
- 酒屋
- 見どころスポット
- 重要伝統的建造物群保存地区